

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・仏壇処分や永代供養合葬墓の利用、低価格の葬儀等が大分、客に浸透してきた感じである。高齢者が増えて子供が少なくなっていくので、この流れは止まらない。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナワクチン接種に期待をつなげるしかない。7月末までの3か月に、多くの人が接種し、有効性が現れることに希望を持ちたい。
	○	一般小売店〔家電〕（経営者）	・これから夏に向かって、エアコン、冷蔵庫等の動きに期待できる。
	○	百貨店（店長）	・現状は新型コロナウイルスの影響が非常に厳しく出ている。全く予想できないが、ワクチン接種等や、東京オリンピックもあるので、多少は良くなるのではないかと。ただし、飽くまで前々年比80%の現在と比べての話であり、厳しい状況は変わらない。
	○	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が順調に進めば、徐々に制限も解除されると思われるので、景気回復も見込める。
	○	スナック（経営者）	・5月から新型コロナウイルスのワクチン接種が始まるので、少しずつ良くなると思いたい。
	○	観光型旅館（経営者）	・よほどのことがない限り、今より悪くなることはないほど悪い状況が継続している。2～3か月先の予約はほぼないが、客もこの状況に慣れてきていて、新型コロナウイルス感染拡大の状況等を見ながら、1週間前くらいに予約する。そのため、実際にならないとはっきりしてこない。今回の感染拡大第4波のなかでも、わずかではあるものの、動く客もみられるので、今よりは良くなる。ただし、現状を超える感染拡大第5波があれば、状況は変わるかもしれない。
	○	都市型ホテル（支配人）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、終息後の景気回復事業の話題が出てきている。いまだ接種スピードは遅いものの、先日、県から県民向けの宿泊割引制度の案内が届いたところである。
	○	タクシー運転手	・今月はまだ終わっていないが、今のところ前年比140%くらいで落ち着きそうである。しかし、前々年比では、70%に行くか行かないくらいで終わりそうである。まだ、今後はよく分からない。
	○	観光名所（職員）	・今までがどん底の状態である。これ以上、地方で新型コロナウイルスの感染が拡大しない限り、観光客は徐々に戻ってくると予想している。
	○	遊園地（職員）	・改めて新型コロナウイルスへの対策を徹底し、万全な受入体制を整えるとともに、ゴールデンウィークに向けた集客施策の実施、情報の発信を行うことで、多くの客の来園を期待する。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・東京オリンピック効果に期待をしたいところだが、不透明過ぎて、予測もできない。
	□	百貨店（営業担当）	・ここにきて、新型コロナウイルスの感染が拡大しているため、なかなか量的には売ることができない。ただし、お金がないわけではないので、良い物や高額品が売れる傾向で、若干良くなってきているのではないかと。
	□	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンが、まだ回ってこないため、収束しない。
	□	コンビニ（経営者）	・天候も徐々に暖かくなり、冷たい物が売れてくるので、売上も増えてくると思うが、新型コロナウイルスの影響で、意外と来客数は伸び悩んでいる。金額的には前年をやや下回る可能性もあるので、多少厳しい。
	□	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンが接種できるようになり、景気は少しずつ良くなっていく。
	□	コンビニ（経営者）	・先行きが見えない。
	□	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、街なかでは厳しい状況だと思うが、業界的にそこまで直接影響が出てくることはないため、今のところ変動はないとみている。
	□	衣料品専門店（経営者）	・客との会話でも、配置転換やリストラ等、良い話を聞かない。
	□	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルス対策の遅れと景気低迷が要因で、変わらない。

□	自動車備品販売店（従業員）	・新型コロナウイルス感染者の急増もあり、客足が少し減ることも想定されるが、このまま変わらず横ばいと考える。
□	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの動向次第かと思うが、飲食は悪とされているので、それほど多くは望めない。支援してもらうにしても限りがある。
□	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種にめどが立ってきているが、効果が出るには程遠い。
□	スナック（経営者）	・当県でも新型コロナウイルスの感染者が増えてきて、とうとう飲食店が時短営業になってしまっている。この先が全くみえない状況で、2～3か月後にどうなるのかは本当に新型コロナウイルス次第なので、基本的には変わらない。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・現状の悪い状態から良くなる要因が見当たらない。新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことで、人の動きが出ると期待していたが、現状の接種ペースでは2～3か月先に進んでいると考えるににくい。そのため、現状とほぼ変わらず、団体や法人利用は非常に少なく、細かい売上が大半で、良くなる状況ではない。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・当県内でも新型コロナウイルスの特別警報が発出されており、我々飲食業にとっては、本当にどうしたらよいのか分からない。昼の営業は好調だが、夜の営業はアルコールの提供が全くできない状況で、この先の見通しが本当に立たない。
□	旅行代理店（副支店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種や感染状況が改善し、行動制限がなくなれば、自然と客の動きが出てくると思われる。ただし、現状の受注状況を見ると非常に少ないので変わらない。
□	通信会社（経営者）	・地方でも新型コロナウイルス感染者数の増加が続いており、積極的な営業が一層難しくなっている。厳しい状況は続く。
□	通信会社（社員）	・前年に続き、大規模イベントが軒並み中止となっており、新規顧客の開拓も難しく、顧客からのレスポンスに頼らざるを得ない状況である。
□	ゴルフ場（経営者）	・新型コロナウイルス対策の補助金の効果が出るのか、足りないのか分からないので、判断できない。
□	その他サービス〔クリーニング〕（経営者）	・新型コロナウイルスの収束が見えない。当地は観光地なので、取引先のホテル、飲食の経営者からは、厳しい状況だと聞いている。
□	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかからないなか、首都圏等からの避難のために、地方の別荘が見直されてきている。
▲	商店街（代表者）	・この状況は早期には終わらない。
▲	商店街（代表者）	・当地は東京と比べて田舎なので、今はまだそれほど感じないが、日本中が新型コロナウイルスで騒いでいるので、各学校でクラブ活動が今後どういう動きをするか。クラブ活動ができなくなると、当店の学校関連の商材は余り動かなくなるので心配である。
▲	スーパー（経営者）	・ゴールデンウィークの動きは相当悪いのではないかと。天候も悪く、消費マインドも厳しいと予想している。
▲	コンビニ（エリア担当）	・緊急事態宣言が発出中で、当県でもこれに近い宣言が発出され、人出が少なくなることが予想される。
▲	乗用車販売店（経営者）	・半導体不足の影響で、新車の供給が遅れ始めている。新車販売にブレーキが掛かることが懸念される。
▲	その他専門店〔酒〕（店長）	・4月28日時点が、クリスマス頃の感染状況に似ているという発表もあった。そうするとその頃と同じ状況が、恐らく2～3か月は続くので、再び非常に厳しい局面になるのではないかと。
▲	設計事務所（経営者）	・木材価格が高騰するため、一層厳しくなる。
▲	設計事務所（経営者）	・徐々に物件数が少なくなり、大型物件も少なくなってきた。
×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの収束が見えない限り、今後、商店街はかなり厳しいのではないかと。
×	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスのせいにはしたくないが、地方は本当に困っている。都会も大変なようだが、収束の見込みが立ちそうもない。本当に商売はこれからどうなるかと、心配だけである。

	×	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種もなかなか進まず、日々多くの感染者が出ている状態で、景気が良くなるとは考えられない。ゴールデンウィークも期待はできない。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	金属製品製造業（総務担当）	・半導体業界は好調である。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・2～3か月は量産案件が継続する見込みである。
	□	食料品製造業（営業統括）	・新型コロナウイルスのワクチン接種は予定より大幅に遅れており、受注状況は相変わらず低調に推移している。在庫をそのまま抱えてしまうと、秋の仕込みに大きな影響を与える心配がある。
	□	食料品製造業（総務担当）	・新型コロナウイルス感染拡大は第4波と言われ、加えて緊急事態宣言も発出されている。関東圏は当社の大票田であり、影響の大きさが予想される。悪い状況が変わらず続く。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種等が進まない限り、先行きの不透明な状態が続く。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	・受注、生産量共に、上向く要因がない。
	□	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスワクチンの効果がどのくらいあるのか分からないが、景気は底を打った感はある。また、資材の値上がりも続いている。
	□	金融業（調査担当）	・製造業は外需を中心に受注は底堅く推移するものの、非製造業は大都市での緊急事態宣言の再発出を受け、ゴールデンウィークの観光需要が大きく落ち込む見通しである。
	□	金融業（経営企画担当）	・富士山周辺への観光客は徐々に増加してきていたが、4月末の3回目となる緊急事態宣言の発出は、首都圏からの観光客の足止めとなり、観光業等は衰退する懸念がある。ただし、自粛に対する国民の意識次第で影響は変わってくる。
	□	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種も先になり、出口が見えない状況で、夏のレジャーや行楽等に、引き続き影響が出ると考えている。当社も広告出稿の減少や家計節約傾向が強くなるため、厳しい状況が予想される。
	▲	一般機械器具製造業（経営者）	・半導体不足による受注量の減少が見込まれる。また、影響がどの程度続くか不透明である。
	×	食料品製造業（製造担当）	・時短営業などの影響で、飲食などの卸は数量が半分になったまま元には戻らない。現状、スーパー向けと合わせても、新型コロナウイルス前には程遠い状況で、体力も相当奪われてしまう。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
	×	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・少し景気が良くなりかけると、各種宣言が発出されて景気回復に水を差す。今後の見通しは立たない。
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—
	○	—	—
	□	求人情報誌製作会社（経営者）	・業種を問わず求人掲載企業が増えているものの、業種によって応募者が偏っている。
	□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス対策が、万策尽きた状態のため、変わらない。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が強く、一部の業績拡大企業を除き、ばらつきが多く、安定していない。
	▲	職業安定所（職員）	・長引く休業要請や自粛要請で、体力のない企業は限界にきているのではないかと。
	▲	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染者が増えてきている関係か、当県はやや悪くなると考えている。
×	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で経済が回らない状況だが、この1年、各個人が何をしてきたかよく考えるべきである。相変わらず、旅行者は減っておらず、特に、年配者には困ったものである。	